

事前に備えるべき目標		5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること	
リスクシナリオ		5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	
		※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ	
現在の取組・施策		脆弱性評価	
【下水道施設の機能確保】			
<p><下水道施設の耐震化・老朽化対策> ※再掲 災害発生時において、公衆衛生を確保するため、ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の耐震化・老朽化対策の改築更新を実施している。</p>		<p>下水道施設のストックマネジメント計画の見直しを行い、下水道施設の耐震化・老朽化を進めていく必要がある。</p>	
<p><下水道事業の業務継続計画の策定> ※再掲 災害発生時の汚水処理機能の維持又は被災した場合の速やかな回復のため、対応体制や非常時対応計画を定めた業務継続計画を策定している。</p>		<p>災害発生時においては、人・物等利用できる資源の制限を考慮する必要があることから、被害想定に基づく機能確保までの具体的な行動計画（初動対応や事前対策）等の必要な事項を網羅した業務継続計画を策定する必要がある。</p>	
<p><農業集落排水施設の耐震化・老朽化対策> ※再掲 災害発生時において、農村地域における公衆衛生を確保するため、農業集落排水施設の耐震化や老朽化対策に取り組んでいる。</p>		<p>災害時における農村地域の公衆衛生の確保のため、長寿命化計画（最適整備構想）を策定し、耐震化や老朽化対策を進めていく必要がある。</p>	
<p><農業集落排水施設の耐災害性の確保> 市が管理する農業集落排水施設の耐災害性の向上を図るため、非常用電源装置等の設置を検討している。</p>		<p>農業集落排水施設の汚水処理施設については、災害発生時の停電による冠水を防止するための非常用電源装置の設置が必要である。</p>	
<p><避難所等におけるトイレ機能の確保> 災害発生時の避難所等における衛生環境の維持のため、既設トイレ機能の確保のほか、仮設トイレ等の確保についても備蓄や、災害時の物資供給など協定を締結している。</p>		<p>既設トイレ機能の確保のほか、仮設トイレ、簡易トイレ、携帯トイレ等の備蓄、入手方法を検討する必要がある。</p>	
【合併処理浄化槽への転換の促進】			
<p><合併処理浄化槽への転換の促進> 老朽化した単独処理浄化槽から、災害に強い合併処理浄化槽への転換等、合併処理浄化槽の設置を促進するため、導入に要する経費の一部を助成している。</p>		<p>依然として多くの単独処理浄化槽が残っていることから、災害発生時に備え、下水道処理区域等以外においては引き続き単独処理浄化槽から災害に強い合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。</p>	

事前に備えるべき目標 5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること
 リスクシナリオ 5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、下水道施設や農業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策等の推進を図る。			
重点	対応方策 (今後必要となる取組・施策)	取組主体	重要業績評価指標 (参考値)
	災害発生時の汚水処理機能確保に向けて、市管理の下水道施設についてストックマネジメント計画の見直しを行い、耐震化・老朽化を進めていく。	市	
	災害発生時における汚水処理機能の維持と被災施設の速やかな回復が図られるよう、下水道事業の業務継続計画の内容を見直す。	市	
	災害発生時における農村地域の公衆衛生確保のため、長寿命化計画（最適整備構想）を策定し、耐震化や老朽化対策を進めていく。	市	
	災害発生時における農業集落排水施設の汚水の流下機能及び消毒機能の確保に向けて、非常用電源装置や固形塩素剤の添加装置の設置について検討する。	市	
	既設トイレ機能の確保のほか、仮設トイレ、簡易トイレ、携帯トイレ等の備蓄数量等の検討、協定内容の再確認などを実施する。	市	
	単独処理浄化槽から災害に強い合併処理浄化槽への転換等、合併処理浄化槽の設置を促進するため、引続き導入の推進の取組を実施する。	市	